

聖地花園で躍動！ ラグビー部～全国高校ラグビー大会～

東大阪市の花園ラグビー場で第103回全国高校ラグビー大会が行われ、本校ラグビー部が悲願のベスト8を目指し熱戦をくりひろげた。

Bシードの本校は12月30日の第2回戦から登場、初戦は仙台育英高校を相手に実力を遺憾なく発揮し、12トライを挙げて74—0と圧勝、新年を花園で迎えることとなった。

第3回戦は1月1日、相手は全国優勝の経験を持つ強豪校、茨城の茗溪学園高校。前半は前線の勢いのまま、東明らしい「エンジョイラグビー」で強豪校を押し込み、10—0とリードして折り返した。後半も相手の猛攻をしのぎ、試合終了直前までリードを保ったものの、残り1分のところで逆転トライを決められ10—15で無念の敗戦となった。

結果として敗れはしたものの、高校日本代表候補6人を擁する強豪校を相手に最後まで体を張って全力で戦い、互角の力を見せてくれた選手たち。年末年始に私たちに感動を届けてくれた部員全員に心からの拍手を送りたい。そしてまもなく新人戦も始まる。この悔しさを糧にさらなる飛躍を遂げてくれると期待している。

